



2021年6月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690

岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F

TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491

e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.coop

ホームページ <http://www.unicef-iwate.jp/>

岩手県ユニセフ協会 設立20周年記念号

ご挨拶

岩手県ユニセフ協会
会長 東根 千万億



日頃より、世界の子どもたちのために活動するユニセフ(国際連合児童基金)へご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

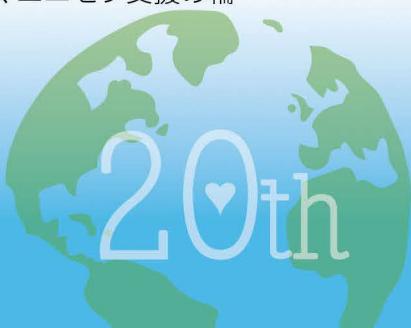
岩手県ユニセフ協会の始まりは、2001年12月8日、前身となる「(財)日本ユニセフ協会岩手県支部」の設立にさかのぼります。日本ユニセフ協会花巻友の会(現・花巻友の会)と、県内でユニセフ活動に取り組む学校・生協・企業・諸団体の皆さまが「支援の輪を広げていこう」と手を携え、活動をスタートさせました。

2011年4月1日、日本ユニセフ協会の新公益財団法人化に伴い、名称を「岩手県ユニセフ協会」に変更した上で、公益財団法人日本ユニセフ協会の協力地域組織として活動を継続し、現在に至っております。活動はボランティアメンバーを中心に行っており、内容は出前講座、ラブ・ウォーク、パネル展、シアター、ハンドインハンドなど多種多様です。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の時、ユニセフは50年ぶりに日本の子どもたちへの支援を表明し、県ユニセフ協会は地元組織として、諸団体・ボランティアメンバーとともに支援活動に取り組みました。あれから10年になりました。この間にも地震、大雨、熱波などの自然災害が相次いでいます。

世界でも災害や紛争が後を絶ちません。5歳の誕生日を迎えることなく年間520万人もの子どもたちが命を落としています。予防接種、安全な水、トイレの設置、教育などユニセフの支援が必要な子どもたちのことを広く知らせ、支援の輪を広げていかなければなりません。また、新型コロナウイルスによる未曾有の危機の中で、子どもたちが穏やかにすこやかに育つための支援も必要となっています。

これからも世界中の子どもたちにたくさんの笑顔と明るい未来を届けるために、ユニセフ支援の輪をひろげてまいります。今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



メッセージ

岩手県ユニセフ協会設立20周年に寄せて

岩手県知事 達増 拓也



この度、岩手県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協会が、平成13年に前身の財団法人日本ユニセフ協会の岩手県支部として設立されて以来、未来の担い手である世界の子どもたちのため、本県においても平成30年度に開催されたユニセフ・キャラバン・キャンペーンなどの啓発活動、募金活動などに精力的に取り組んでこられましたことに心から敬意を表します。

本県に甚大な被害をもたらした東日本大震災津波から、10年が経過しました。貴協会は、日本ユニセフ協会と連携し、震災直後から緊急支援活動に着手され、その後も継続して県内の子どもたちや学校、地域の復興に向け、多大なる御支援をいただいておりますことに改めて深く感謝申し上げます。おかげ様をもちまして、本県の子どもたちは、地域の良さを知り、人の温かさを感じながら、岩手の未来を支える人材として育ってきております。

本県では、「いわて県民計画(2019～2028)」に基づき、東日本大震災津波からの復興に引き続き取り組むとともに、「県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現」を目指しております。

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、岩手の子どもたちが、貴協会の活動を通じて、自分や同じ地球上に生きる子どもたちに目を向け、自分たちにできることがあると気付き、考え、将来に向けた行動につなげていくことは、非常に意義深いものと期待しております。

貴協会におかれましては、紛争や自然災害、貧困などにより厳しい生活を強いられている世界中の子どもたちの幸福のために、今後とも一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ

(公財)日本ユニセフ協会 会長 赤松 良子



岩手県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。世界の子どもたちのためにユニセフの活動を支援下さいました貴会の皆様に感謝申し上げます。また岩手県ユニセフ協会を支えてくださっておられる皆様、そして設立20周年を迎えるにあたりご尽力賜りました関係者の皆様に心からの敬意を表します。

岩手県ユニセフ協会におかれましては、ユニセフ創設75周年にあたる節目の年に、設立20周年を迎えられましたことは大変記念すべきことと思っております。2011年3月の東日本大震災から10年が経過し、さぞ感慨深くいらっしゃることと思います。当時ユニセフとして半世紀ぶりの日本国内での支援活動に、ユニセフ職員とともに県協会の皆さまは献身的に取り組んでくださいました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大予防により、日本でも学校が休校になるなど、さまざまなもの制限があるにもかかわらず、講師派遣、そしてオンラインイベントの開催など、ユニセフ活動を継続していただきましたことに感謝申しあげます。

今、コロナ禍により、世界中の子どもたちの笑顔が消えています。特に紛争などで、以前から医療体制が脆弱な開発途上国では、子どもたちを取り巻く環境は急速に悪化しました。低中所得国では提供される保健サービスが50%も減少、また学校給食も休校措置のため中断、3億人以上の子どもたちの栄養状態を脅かしています。

こうした中で、みなさまからの温かいご支援を含めまして、ユニセフに対する日本からの民間協力は非常に大きなものになっており、ユニセフの財政や活動を支える大きな力となっております。これからも、厳しい状況にある世界の子どもたちの命と未来を守るために、共に手を携えて活動を進めてまいりましょう。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

岩手県ユニセフ協会概要

◆設立目的

公益財団法人日本ユニセフ協会の協定地域組織として、世界の子どもたちの健やかな成長のため、教育、保健、水と衛生、栄養、保護などのユニセフ協力活動を推進することを目的としています。

岩手県ユニセフ協会の活動

◆岩手県ユニセフ協会は、左記の目的を達成するために以下の活動を行います。

1. ユニセフの広報・啓発活動
2. ユニセフへの協力(募金)
3. 県内の賛助会員・募金協力者、関係団体との協力
4. その他岩手県ユニセフ協会の設立目的を達成するために必要な事業

組織概要

団体名	岩手県ユニセフ協会
所在地	〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
設立日	2001年12月8日 財団法人 日本ユニセフ協会岩手県支部
	2011年4月1日 現在の名称に変更
役員	顧問3名 会長1名 副会長2名 理事25名 監事2名 評議員22名
事業内容	広報活動/啓発活動/募金活動/講師派遣/学習/イベント企画・運営など



▲ユニセフ写真パネル展



▲ユニセフ出前講座



▲ハンドインハンド街頭募金活動

岩手県ユニセフ協会役員

役	職	お名前	役職名
顧問	問	達増 拓也	岩手県知事
顧問	問	村田 源一朗	(株)岩手日報社顧問
顧問	問	三浦 宏	(株)岩手日報社相談役
会長	長	東根 千万億	(株)岩手日報社代表取締役社長
副会長		飯塚 明彦	岩手県生活協同組合連合会会長理事
		小川 智	岩手大学学長
専務理事		石橋 百合子	いわて生活協同組合副理事長
常務理事		安藤 厚	元岩手県教育委員長
		川村 元	岩手県学校生活協同組合専務理事
		佐藤 愛理	いわて生活協同組合常務理事
		林 正文	岩手県ユニセフ協会花巻友の会会長
		守谷 祐志	日赤岩手県支部有功会連合会会長
		吉田 敏恵	岩手県生活協同組合連合会専務理事
理事	事	岩間 由記子	立正佼成会東日本教区奥羽支教区盛岡教区長
		大久保 嘉二	NHK盛岡放送局局長
		小川 彰	岩手医科大学理事長
		小野寺 哲男	岩手県中学校長会常任理事
		小原 紀彰	(株)岩手県医師会会长
		鎌田 英樹	(株)IBC岩手放送代表取締役社長
		樋野 信治	(株)テレビ岩手代表取締役社長
		金田一 文紀	岩手県教職員組合中央執行委員長
		齋藤 秋水	(株)岩手めんこいテレビ代表取締役社長
		猿子 恵久	岩手県町村会栗石町長
		柴崎 一恵	もりおか女性の会会長
		瀬川 愛子	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長
		高橋 トシ	岩手県ユニセフ協会花巻友の会
		田口 昭隆	(株)岩手県PTA連合会会長
		谷藤 裕明	岩手県市長会会長
		畠山 大	(株)岩手朝日テレビ代表取締役社長
		増子 義孝	岩手県立大学名誉教授
		和田 英英	岩手県小学校長会常任理事

役	職	お名前	役職名
監事		磯田 朋子	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
		沼田 聰	岩手県学校生活協同組合常務理事
評議員		梅津 久仁宏	岩手県高等学校長協会会長
		小田島 順造	岩手県私学協会会長
		小野寺 敬作	岩手県農業協同組合中央会代表理事長
		川村 宗生	(株)川徳代表取締役社長
		菊池 真弓	ガールズカウト岩手県連盟長
		小畠米 葉子	盛岡ゾンタクラブ会長
		古武 みどり	国際ソロチミスト盛岡会長
		金野 耕治	岩手県労働組合連合会議長
		佐々木 秀市	岩手県高等学校教職員組合執行委員長
		佐藤 啓子	盛岡ライオンズクラブ会長
		佐藤 伸一	日本労働組合連合会岩手県連合会事務局長
		高橋 克彦	作家
		高橋 富一	岩手県商工会連合会会長
		千葉 仁一	岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会長
		智田 恵子	盛岡バイロットクラブ会長
		長山 洋	(社)岩手県社会福祉協議会会長
		松田 恵美子	岩手県青年団体協議会会長
		宮野 裕子	(株)盛岡タイムス社代表取締役社長
		向井田 敏宏	日本ボイスカウト岩手連盟事務局長
		八重樫 利久	(公社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長
		山信田 寧寧	(株)エフエム岩手代表取締役社長
		吉田 美映	いわて生活協同組合理事
事務局長		反町 久美	

2021年4月現在(敬称略 50音順)



設立総会 初代会長 村田源一郎氏

2001

- 設立総会
初代会長村田源一郎氏
- 「アジアの子どもたちと
ユニセフ」講演会
- 初めてのハンド・イン・
ハンド



出前講座はじまる

2002

- アフガニスタン写真展
- 出前講座始まる
- 小林正典氏講演会・写真展



おさなご幼稚園 球根植え

2003

- 葉祥明氏講演会
- 第1回ユニセフのつどい
アグネス・チャン大使講演会
- 花巻友の会設立15周年
葉祥明氏講演会
- 東ティモールスタディツアーアジア
- いわてユニセフフェスタ



葉祥明氏講演会

2004

- イラク北部クルド自治区
児童画展
- 現地報告会「カンボジア
の子どもたち」
- 世界のバリアフリー絵本展



及川サチコ氏講演会

2005

- 及川サチコ氏講演会
- ユニセフチャリティコン
サート

岩手県ユニセフ協会 20年のあゆみ

2011

- 東日本大震災ユニセフ半
世紀ぶりに日本支援
- 組織名称を「岩手県ユニ
セフ協会」に変更
- 2代目会長三浦宏氏
- 第1回ラブウオークin
いわてはじまる
- 東日本大震災ボランティ
アプレイセラピー研修
- 東日本大震災ユニセフこ
どもバス遠足
- 花巻友の会「平和チャリ
ティコンサート」
- 10周年記念「地球のス
テージ5」

2012

- 東日本大震災保育園・幼
稚園再建支援
- ユニセフ東日本大震災報
告写真展
- 東日本大震災父子家庭支援研修
- 大槌町キッズコーラス・
キャラホール少年少女合
唱団交流支援
- 東日本大震災「未来の教
室づくり」
- 東日本大震災ボードゲー
ム会支援
- 祈りのツリーづくり
- 東日本大震災子ども映画上映会
- 東日本大震災夏だ！キャ
ンプだ！inいわて
- 東日本大震災大槌町保育
園・幼稚園球根植え
- 花巻友の会「平和チャリ
ティコンサート」

2013

- 大槌町キッズコーラス・
キャラホール少年少女合
唱団交流支援
- 東日本大震災「未来の教
室づくり」
- 東日本大震災ボードゲー
ム会支援
- 祈りのツリーづくり



東日本大震災
ボードゲーム会支援

2014

- 東日本大震災おもいっさ
り遊ぼうin盛岡
- 東日本大震災お父さん支援
者研修
- 「子どもにやさしい空間」
研修
- いわてユニセフのつどい
2015



東ティモール
スタディツアーパート

2015



いわてユニセフのつ
どい
2015



アグネス・チャン大使講演会
「みんな地球に生きる人」

2006

- 日本ユニセフ協会早水研 専務理事講演会
- 「今アフリカでおきていること」写真展
- ワンワールドフェスタ いわて参加はじまる
- ユニセフチャリティコンサート



ユニセフチャリティコンサート

2007

- ユニセフすごろく作成
- ユニセフのつどいミニコンサート
- 「子どもとエイズ」写真パネル展
- アグネス・チャン大使講演会 「みんな地球に生きる人」
- ユニセフクリスマスフェスタ



ユニセフすごろく

「地球のステージ」

2008

- 「地球のステージ1」
- 「インド経済発展の陰で苦しむ子どもたち」写真パネル展
- 花巻友の会20周年「地球のステージ」
- 「EYE SEE III」写真展 「子どもたちがみたもの」



2009

- 花巻ユニセフ講座
- 「アグネス・チャン大使 中国大地震視察報告」写真パネル展
- 「地球のステージありがとうの物語」
- 「ユニセフ in 宮古



- 「子供の情景」映画上映
- ブータンスタディツアー
- ユニセフ講座「子どもの権利条約」
- 「アグネス・チャン大使 ブルキナファソ視察報告」写真パネル展
- 花巻友の会平和チャリティコンサート

2010

ユニセフ・シアター
「LION/25年目のただいま」

2016

- 設立15周年記念「平和チャリティコンサート」
- 東日本大震災大槌町保育園・幼稚園球根植え



東日本大震災支援
チューリップ球根植え

2017

- 「アグネス大使グアテマラ訪問」写真パネル展
- ユニセフ講座「ルワンダから学ぶ」
- 「地球のステージ久遠の帰還」



ユニセフ・ラブウォーク

2018

- 「アグネス大使シリア周辺国訪問」写真パネル展
- ユニセフ・シアター「LION/25年目のただいま」
- 長谷部大使『ワクチンの旅』写真展
- 花巻友の会「30年記念チャリティコンサート」



親子外国コイン仕分け活動

2019

- 3代目会長東根千万億氏
- 「もったいないばあさんのワールドレポート展」
- ユニセフ・シアター「プランカとギター弾き」
- 親子外国コイン仕分け活動
- 東日本大震災支援ツアー



オンライン講座
「コロナの時代をどう生きるか」

2020

岩手県ユニセフ協会は、こんな活動をしています

広報啓発活動



東日本大震災復興支援



募金活動



設立20周年記念

安田菜津紀さん講演会 3/27

「世界の子どもたちと向き合って」 ～シリア難民の子どもたちと東日本大震災～

記念式典では、岩手県ユニセフ協会の東根千万億会長あいさつ、日本ユニセフ協会の早水研専務理事あいさつのあと、「20年のあゆみ」DVDを上映しました。記念イベントでは、岩手県立不來方高校音楽部が全国トップレベルの歌声を響かせました。不來方高校音楽部は、声楽アンサンブルコンテスト全国大会3位入賞で得た賞金10万円をユニセフに贈呈してくださり、急きよ贈呈式を行いました。4曲目の「心の鼓動」(シリア内戦下の子どもたちのメッセージを伝える曲)は、安田菜津紀さんの講演の「シリア難民」と呼応することとなりました。



▲安田菜津紀さん



▲不來方高校音楽部による合唱



▲会場で販売した安田さんの書籍
『写真で伝える仕事』『故郷の味
は海をこえて』『それでも、海へ』
のサイン会。用意した書籍は、完
売しました。

ロビーでは、不來方高校音楽部のみなさんが募金箱を持ち、静かに募金活動をしてくれました。募金額50,474円でした。



▲間隔をあけた会場



▲会長あいさつ

シリア国民の半数が避難

安田菜津紀さんが「フォトジャーナリスト」という仕事に就いた経緯、シリアの国民の半数が避難している現状、内戦が始まる前のシリアが美しく観光客の多い国だったこと、シリアの子どもたちの「私たちは何も悪いことをしていないのに」という言葉、日本での難民の受け入れが0.4%であることなど、海の向こうだけの話ではないことを、写真を交えて話されました。

シリアの内戦と東日本大震災が奇しくも同じ2011年3月に起こったこと、ご自身と陸前高田市とのつながり、不來方高校が編曲して演奏した「心の鼓動」(シリア内戦下の子どもたちの思いが込められた歌)の歌詞にある「気づいて」という言葉の重さについて、自らが被災して「恩返し」ではなく「恩送り」をするという陸前高田市の方々、どれをとっても「人ごと」にしないで世界にも身近にも目を向けようという、ぶれない気持ちが伝わりました。何か支援をしようと思うときはユニセフなどの団体に募金することが、コロナ禍でも確実に届くという力強いメッセージをいただきました。



▲全国大会の賞金10万円をユニセフに贈呈していただきました



寄せられたアンケートより

普段知ることのない話をしてくださったおかげで、遠い所で起こっているようを感じていたシリアでの問題が近くに思えました。僕は将来、他言語を使って世界で働きたいと思っていますが、これまでの僕の知っていた世界はまだまだ狭すぎたように感じました。世界で何が起きているか勉強していきたいと思います。

子どもの表情=社会、岩手県民の10倍の避難生活者。有名人は殺されにくいが、一般人は被害にあう。自分の知識の甘さを実感した。自分の知識がどれだけ薄く、報じられている情報はどれだけ狭い視点なのかを知った。「難民」「被災者」とくるのではなく、一人ひとりが苦しんでいるという認識を持つことができた。

ニュースでしか知らないシリアという国、そこに住む人々はたくさんの困難に直面していること。遠い話という感覚が今日の講演でがらりと変わり、私の中に大きな問題として認識させられました。

世界には大変な思いをしている子どもたちがいることを実感しました。あたり前の日常が突然なくなったら、と思うと胸がつまりました。

- ・不來方高校音楽部の合唱、とても心に沁みて涙が出了ました。(多数)
- ・「心の鼓動」を胸に刻み、新しい春を迎えます。
- ・きれいな歌声が心中を浄化してくれました。
歌の力ってすばらしい。

ユニセフについて

ユニセフとは



© UNICEF/UNI0367573/Tremeau

ユニセフ(UNICEF:国際連合児童基金)は、子どもの命と権利を守り、子どもがもって生まれた能力を十分に發揮できる機会を広げるために活動する国際連合の機関です。第2次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行ったため、1946年に創設されました。

現在は、190の国と地域で、教育・保健・水と衛生・栄養・保護などの支援活動を通して、子どもたちのすこやかな成長を支えています。

日本ユニセフ協会



© UNICEF/UNI333569/Dejongh

日本ユニセフ協会(国内委員会)は、世界の33の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)を行っています。

岩手県ユニセフ協会

岩手県でのユニセフ支援活動の拠点として、地域に根づいた活動を行っています。県内唯一のユニセフ募金の窓口です。

賛助会員募集

年1回、会費をいただき、岩手県ユニセフ協会の活動を継続して支えていただく賛助会員制度です。会員のみなさまには、ニュースやイベント案内をお届けしています。

一般会員 (個人ならどなたでも) **1口 / 5,000円**

学生会員 (18才以上の学生) **1口 / 2,000円**

団体会員 (団体・法人・企業) **1口 / 100,000円**

ユニセフの組織と募金の流れ

みなさんからの募金



各国政府

ユニセフ国内委員会 (33カ国)

民間の人々からの募金が集まります。

ユニセフ本部(ニューヨーク)

集められた募金の使い道を決めます

ユニセフ現地事務所

各地で子どもたちの生活をよくするための事業を計画し実施します。

世界の子どもたちへ



ボランティア募集



岩手県ユニセフ協会では、ユニセフ活動をご一緒にすすめるボランティアスタッフを募集しています。活動内容は、ユニセフ出前講座・イベント参加・運営協力などです。世界の子どもたちやボランティア活動に関心をお持ちの方は、お問い合わせください。

